

ちゃんぷるー学習帳 〆



沖縄市のまちなか案内帳

年 組 名前

Experience in Okinawa City

Exciting City Koza

Cham-pu-ru

エイサーのまち
音楽のまち♪
チャンプルーのまち

沖縄市
体験プログラム本
「ちゃんぷるー学習帳」



B5 普通野線

〆 OKINAWA CITY



コザという街は存在しません。にもかかわらず、今もその名前と呼ばれる沖縄市のオールドタウン。多文化共生型の社会を実現していることからチャンプルータウンとも呼ばれていますが、コザの正式名称は沖縄市です。1974年、コザ市と美里村が合併して沖縄市となりました。アメリカとアジア、そして日本が融合したチャンプルー文化のもと、オキナワンロックから民謡・島唄まで多彩な音楽芸能文化を生み出しています。沖縄の伝統芸能エイサーの、戦後の潮流を生み出したことから「エイサーのまち」としても知られています。

■生きた平和学習「今、ここに在る戦後」 After1945～シリーズ

沖縄の平和学習の主流は、戦跡や資料館、語り部などを通して平和を学ぶ「過去から学ぶ平和学習」ですが、私たちが提案するのは、日米安保条約による米軍基地の恒常化が地域の暮らしにどのような影響を与えているのかを体験していただくプログラムです。一言で説明すると体験型の平和学習であり、テーマは現在進行形の「今、ここに在る戦後」です。

コザインフォメーションセンターは、地域のみなさんの協力を得て、多彩な地域資源を発掘あるいは活用した教育旅行の体験企画を、皆様と一緒に考えながら提案させていただいております。小人数の学校にも対応しておりますので、気軽にお問い合わせください。

関連ページ P6~7



沖縄全島エイサーまつり

こんにちは！
一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会
観光誘客プロモーション事業です。

私共は、沖縄市に市外からの誘客を図るために観光誘客プロモーション事業として、市の魅力発信、伝統工芸や文化・食文化の発信、教育旅行プログラム、着地型観光商品開発、スポーツコンベンションシティとしての誘客や受け入れ等を行っております。

「エイサーのまち」宣言を行い、沖縄県内のエイサーのメッカとしてそのPRを行っておりますが、沖縄市はこの他にも外国人が多く住む街として（2015年4月現在43カ国籍在住）国際交流都市宣言もっており、多文化が共生する街としての側面もあります。また、広大な泡瀬干潟を持ち、自然プログラムを通して豊かな海の恵みを観察し楽しむ環境もあり、多彩なプログラムを随時開発し、誘客のプロモーション及び受け入れ態勢をサポートしております。本冊子内で紹介しておりますプログラムやその他、些細な事でもかまいませんのでお気軽にお問い合わせください。



沖縄本島全域へのアクセスが良い沖縄市

沖縄本島全域へのアクセスが便利で、スポーツ施設などが充実している沖縄市は、日本陸連や大学・実業団、プロ野球キャンプなどの宿泊地として活用されています。中心市街地の個性的な景観も魅力で、映画やミュージックビデオ、CMなどのロケ地としても人気です。

那覇空港IC/首里城公園など ↔ 沖縄南IC(沖縄市) ↔ 許田IC(名護市) → 美ら海水族館など

約40分

約50分

一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会 観光誘客プロモーション事業 (コザインフォメーションセンター)

〈住所〉〒904-0031 沖縄県沖縄市上地1-1-1

〈電話〉098-989-5566 〈FAX〉098-989-5567

〈E-mail〉okinawa@koza.in

沖縄のホンモノに 触れる **KOZA**



コザの
音楽!
芸能?
文化

Music
Public entertainments
Culture

沖縄市・コザでできる 芸能・文化体験

沖縄市でホンモノ文化体験をしてみませんか?
1プログラム5~30名程度の受け入れが可能です。
伝統エイサーの体験や三線、琉球舞踊そして
古流伝統空手など貴重な体験を通し、沖縄独特
の文化に触れていただくプログラムとなっております。

空手体験で沖縄の心を知る



空手の発祥地、沖縄で本場の空手を体験してみませんか。空手の源流といわれる古流伝統空手剛柔流を継承する道場にて体験します。琉球王国では武器の所持が禁止されていたため、発達したといわれる空手。実践的な剛柔流の型には、生きる力が宿っています。空手を通して、沖縄を肌で感じてみてください。

■忍耐力 ■自立心 ■達成感

本場で体験、エイサー体験



ダイナミックな演舞で知られるエイサーの現在の形を作り出したのは沖縄市の青年会です。そんなエイサーの本場沖縄市で、伝統的な型を取り入れたエイサーを体験しましょう。

丁寧な解説で、エイサーの歴史を知ることできます。所要時間は1時間程度です。

■チーム力 ■達成感 ■地域交流

Experience in Okinawa City Exciting City Koza

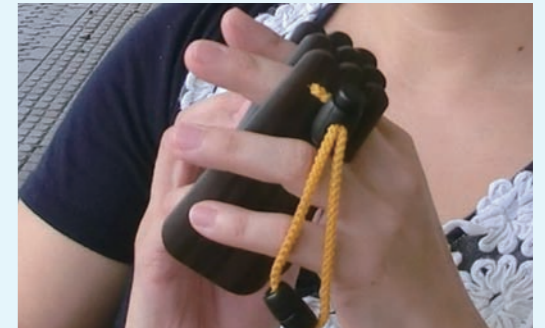
沖縄に触れる三線体験



沖縄市は民謡も盛んです。エイサーを始め色々な音楽に使われている楽器、三線を実際に弾いてみませんか? 本格的な古典から、誰でも知っている童謡までご希望のレベルで体験できるのも魅力です。所要時間は1時間から。本格的な1日コースもございます。三線の音色をつま弾くと、沖縄がより近く感じられますよ。

■表現力 ■地域交流 ■技術力

琉球カスタネット、三板体験



沖縄民謡には欠かせない楽器といえば三線ですが、実は沖縄の打楽器、三板(さんば)も欠かせない存在です。リズムさえつかめば簡単に演奏できて、見た目もちょっとカッコイイ。名前の通り、三板の板を打ち鳴らすと琉球の音色が聞こえてきます。持ち方や、鳴らし方などを、音楽に合わせて体験してみませんか。所要時間30分~1時間程度。

■表現力 ■地域交流 ■技術力

かんたんクラフト締め 太鼓作り体験



エイサーの要である太鼓。本物の締め太鼓とほぼ同じ締め方で作る「かんたんクラフト締め太鼓」は段ボール製ながら本格的な仕上がります。出来上がった後は、打ち方も教えてもらえます。エイサーのミニ講座付。所要時間30分~1時間程度。

■技術力 ■達成感 ■地域交流

あでやか! 琉球舞踊体験



琉球王国時代、士族のエリートのみが踊っていた琉球舞踊。華麗な舞いに込められた思いを学びながら体験します。地元でも敷居の高い琉球舞踊ですが、先生が丁寧に指導してくれますよ。所要時間は半日~1日コースと本格的な体験となります。

■表現力 ■自立心 ■地域交流

コザ暴動

KOZA RIOT

ベトナム戦争

Vietnams War

本土復帰

Return to the mainland Japan

沖縄市内でできる平和学習として
After1945～シリーズのプログラムを紹介
しています。第二次世界大戦後、沖縄は
1972年の本土復帰まで、米国による統治
下時代を過ごします。そんな中、たくましく
時代を生き抜き、そして独特な文化を生み
出してきたオキナワのたどった歴史を学び
ながら、1945年の終戦から現代へとつな
げる平和学習を行っています。

コザ暴動の地を歩く



1970年の沖縄。アメリカ軍が支配する土地。事
件事故は、すべて沖縄側の泣き寝入りでした。12月
20日未明、アメリカ兵による交通事故がきっかけと
なり、コザ市民たちは怒りを爆発させました。事件
が勃発した場所などをたどりながら、当時の人々の
思いや歴史を学びます。

■想像力 ■分析力 ■社会学

奉安殿と忠魂碑・文化財「戦争遺跡」登録



奉安殿（ほうあんでん）とは、御真影と教育勅語
を納めていた建物です。御真影には最敬礼が求め
られました。1945年以降はGHQの神道指令により
廃止・解体されています。しかし沖縄市には全国で
も珍しい奉安殿が残っています。なぜ沖縄市の奉
安殿は残されているのか、またこれらの戦争遺跡
を通して沖縄市の第二次世界大戦の様子やその後
の戦後復興、米軍基地の影響などを伝えます。

■思考力 ■想像力

ふるさとは基地の中〔講話〕



沖縄では民間の土地が軍用地としてたくさ
ん接収されました。集落丸ごと、お墓も基地の
中という方々がいます。長い年月を経て遺産相
続などにより名義が分散し続けて、問題を複雑
にしています。そんな現実を知らずも軍用地主
になってしまった「くすぬち平和資料館」の真
栄城館長に伺います。

■思考力 ■分析力 ■客観力

コザのアメリカホテルが見たもの〔講話〕



沖縄市には米軍と契約をしている民間のホテル
があります。これらのホテルは、復帰前は米軍用の
ホテルとして利用され、24時間要請があれば基地
内に迎えに行き、次の戦地へと兵士たちは旅立っ
ていました。現在は、ほとんどが一般の方が利用し
ています。独特な歴史背景を聞きながら、「ホテル
」という非日常な空間を通して当時の沖縄・コザ
を振り返ります。

■思考力 ■分析力 ■社会学

ヒストリートで学ぶコザ歩き



沖縄市が運営する街かど資料館「ヒストリート」
で、戦後沖縄の返還を学びます。
本土とは違う歴史をたどった沖縄の姿がくっきり
と浮かび上がるでしょう。
基地の街の文化を学び、基地と共存してきた歴
史をたどります。

■思考力 ■想像力 ■地域交流

Aランチ誕生ヒストリーとKOZA〔講話〕



沖縄には独特の食文化が根付いています。長寿
食が注目される一方で、カロリーがたっぷりのアメ
リカンなランチプレートやファーストフードも人気
です。こういった、食文化はやはり戦後まずしかっ
た沖縄が、外食ではちょっとリッチなものが食べ
たい。アメリカ人が食べているような食事がしてみ
たいという憧れから沖縄の洋食レストランの歴史が
始まります。その中には「Aランチ」と呼ばれる洋食
プレートはもはや県民食。そのAランチの誕生ヒスト
リーを聞きながら、オールド・オキナワンの街の様
子を伺います。（食事と組み合わせることも可能です）

■思考力 ■想像力 ■社会学

沖縄・コザの食文化

Made in KOZA

地域文化を体験

Local Food

Nature and Tradition

Local Culture

沖縄市内でできる体験学習として、他にはない地域性や文化や伝統に触れるプログラムを紹介します。沖縄民謡に欠かせない三線の組み立て体験や、沖縄料理や黒糖、ゆし豆腐（おぼろ豆腐）を作り食文化体験。ドル体験のまち歩きをしながらガイドと英語で買い物をする多文化の街体験。または、街なかから離れて南西諸島の干潟が広がる泡瀬干潟で自然観察を行うことも可能です。多彩なプログラムを通し修学旅行の思い出を色濃くします。

ウッドor缶カラ三線作り体験



沖縄民謡に欠かせない楽器、三線は高価なもの。そんな三線も、終戦後捕虜収容所で余りものを利用し「缶カラ三線」が誕生しました。本物とは違うけれど、奏でる音色は琉球の音。当時の人々の心を癒した音色を作ってみませんか？もう少し、本格的なモノならウッド三線もおススメです。組み立て所要時間1時間半～。出来上がったらみんなで練習しましょう。

■技術力 ■達成感 ■地域交流

アンマー達と一緒に沖縄料理体験



公民館にて、地域の婦人会の方々と一緒に沖縄の家庭料理をつくります。ゴーヤーチャンプルーやトーフチャンプルー、タマナーチャンプルーと色々なチャンプルー料理の他に、沖縄のおやつサーターアンダギーも作ることができます。お土産にしたり、その日の昼食にしたりとプログラムの時間によっては、お昼もおやつも作れたりします！所要時間約3時間～。

■達成感 ■地域交流 ■世代間交流

Let'sイングリッシュ

Hello文化のコザでドル体験



基地と共存してきた街、コザ。コザの街では飲食店を中心に、ドルでの買い物や支払いが可能なお店がいくつもあります。中には、ドルのみのお店も!?なぜ、この街でドルが使用できるのか解説を聞きながら実際に体験してみましょう!もちろん、買い物は英語で。簡単な英会話もガイドから教えてもらいます。※定員数がありますので、予めご相談ください。

■想像力 ■地域交流 ■英会話

南西諸島一の泡瀬干潟で生物観察



沖縄市の泡瀬干潟は100万年前、中国大陸とつながっていた痕跡を発見できる南西諸島で最大規模の浅海域です。干潟を学びながら、潮干狩りや生き物観察、沖縄の海の歴史や地質の話まで。実際に体験することで、自然環境の保全などを身近に感じることができます。※定員数がありますので、予めご相談ください。

■チーム力 ■生物観察 ■地球環境

古民家で学ぶ、

沖縄⇄琉球の暮らし(講話)



琉球人は自然への尊敬とおそれ、感謝をはぐくみながら厳しい自然と共生してきました。古民家の庭や厩の場所、家畜小屋の位置などを聞きながら古から伝わる教えを伺います。琉球弧と呼ばれる日本本土は違う文化が息づく沖縄のふしぎを垣間見ることができる講話です。(沖縄こどもの国園内ふるさと園にて実施)

■自然科学 ■民俗歴史 ■知力向上

ふるさと園で手作り体験



古民家のふるさと園にて、昔ながらの製法でサトウキビから汁を搾って作る黒糖づくりや、実際に汲んできたばかりの海水を利用したゆし豆腐づくりなどを体験します。もしちゃんと作れなかったら…?原因を考えるのも本プログラムの楽しみです。このほかには琉球藍を使用した藍染め体験も可能です。※定員数がありますので、予めご相談ください。

■自然科学 ■達成感 ■地域交流

沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリートI、II」



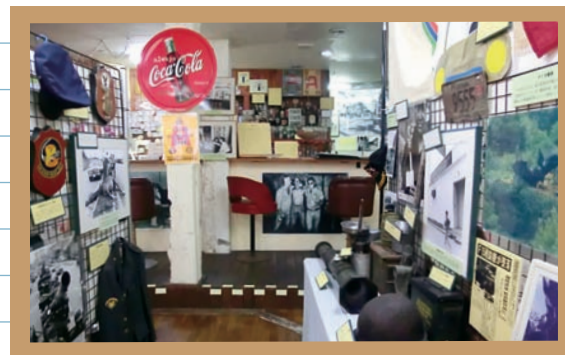
沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリートI

今ここに在る戦後を、
基地のまちで考える

ヒストリートでは、基地から派生する様々なエネルギーに支えられ、異文化と接触しながら、きわめて個性的な文化を創出してきた沖縄市の戦後史を系統的に学べる街かど資料館です。戦後沖縄の縮図と形容される沖縄市を幅広く見つけ直すために開設されました。

沖縄市役所の市史編集担当者が長年にわたって収集した資料、また市民から寄贈された戦後の生活雑貨や写真などが展示されており、基地とのかかわりや地域文化の変遷など、コザ・沖縄市の歩みが一目でわかるようになっています。基地の存在が日常生活にどう影響を及ぼすのかを系統的に学べる施設です。

太平洋戦争からもうすぐ1世紀近くがたとうとしている今だからこそ、沖縄の戦後史を通して、今ある平和について考えてみませんか？



センター通り1956年7月

修学旅行の行程で時間調整が必要な場合は
当協会がお手伝いいたします。

沖縄市を知るキーワード

●基地が作った街・コザ

現在の沖縄市の人口は約13万人。卸小売業、サービス業が中心で、第三次産業の割合が77%を占めています。「音楽の街」「国際交流都市」そして「エイサーのまち」として知られていますが、こういった礎は基地の街としての歴史から成ります。米軍人相手に復興した街には、音楽芸能が花開き、モノ作り文化、そして商業地として栄えてきました。なんと1950年代のコザ市(越来村)の人口の約8割が流入人口だといわれています。コザには全県から人々が生活の復興のために集まってきました。



●壁に貼られた1ドル札とAサイン

ヒストリートには、Aサインバーを再現したバー・カウンターがあります。Aサインとは、いまでいう保健所の営業許可証のようなものですが、これが無い店には米軍関係者は入店できませんでした。コザで生きる人達にとってAサインがあるかどうかは死活問題でした。そして、カウンターには、アメリカ時代に米軍兵士たちが残していった1ドル札を模したイメージ展示があります。当時のバーには、天井や壁に名前が書かれた1ドル札が貼られていたのですが、これは「(ベトナムから)必ず帰ってくる!」という兵士たちの願掛けでもありました。無事に戻れたら、このお金で無事を祝うのです。今でも、コザのアメリカンバーには当時のドルがそのまま貼られています。



●コザ暴動

1970年12月20日未明、米軍兵士が起こした交通事故をきっかけに、米軍支配という軍事優先政策によって差別されてきた住民の不満が爆発しました。これが近代史の中でも大規模な民衆事件「コザ暴動(コザ騒乱、コザ事件)」となります。82台の米軍関係車両を次々に燃やし、さらには基地内小学校焼き討ちと、住民の怒りが一晩中続きました。しかしその後、長期にわたる米軍からの外出禁止令により、コザの街の商売は大打撃を受けることとなります。コザ暴動はなぜ起きたのか? 地元でも風化されつつある事件をもう一度ひも解くことによって、沖縄の背景や今、自分を取り巻く、自由や民主主義といったものは何か? を考えます。

教育旅行、団体旅行、体験学習や平和教育プログラムの相談、エイサーや島唄ライブ派遣など、当協会がご相談にのらせていただきます。まずは、些細な事でもお気軽にご連絡ください。

一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会
観光誘客プロモーション事業(コザインフォメーションセンター)

〒904-0031 沖縄県沖縄市上地1-1-1
電話/098-989-5566 FAX/098-989-5567
Eメール/okinawa@koza.in 予約受付/月~金 9:00~18:00

